

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	アスレティックリハビリテーション I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60(2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 木・金、1限	教室名	ATルーム
担 当 教 員	海東 翼	実務経験と その関連資格	AT、鍼灸師としてスポーツ整形で働きながら、高校ラグビー部やアメフトなどのチームに帯同経験有、現在は大学ATルームに勤務し活動中			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>①アスレティックリハビリテーションの意味を知り、その実践に当たって必要となる基礎的知識を理解出来るようになる②各種エクササイズの基本理論と方法について学び、対象者に妥当なエクササイズが指導できるようになる③物理療法の基礎理論を学び使用についての理解を深め、対象者にアドバイスできるようになる④補装具について学び、適切な指導、使用が出来るようになる</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1:定期試験:70% 2:平常点:10% 3:出席点:20%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>AT教本⑦「アスレティックリハビリテーション」</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>あらかじめ指定された範囲のテキストに目を通し、予習をする。また授業後に振り返るために各疾患別のアスレティックリハビリテーションを測定評価と結びつけながらまとめる</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>本格的な人体施設に入っていきます。筋骨格系へのアプローチを中心に授業は展開していきます。すでに学んだ知識を復習するとともに、正確にその場に鍼を打つ、灸をすえる技術を身につけましょう。人の身体に鍼を刺す、灸をすえる本当の意味を考え、真面目に授業に取り組んでください。特殊鍼法(鍼通電・灸頭鍼・皮内鍼・円皮鍼)を用いてできる治療方法について学びます。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	SOAPノートを理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	SOAPの使い方を学ぶ			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	SOAPノートを理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	SOAPの使い方を学ぶ			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	アスレティックリハビリテーション(A R)を理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	ARの考え方について学ぶ			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	アスレティックリハビリテーション(A R)を理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	ARの考え方について学ぶ			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	物理療法を理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	物理療法について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	物理療法を理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	物理療法について学ぶ		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	足関節について理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(基礎) 足関節捻挫に対する評価と、問題点の抽出(統合)		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	足関節について理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(基礎) 足関節捻挫に対する評価と、問題点の抽出(統合)		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	足関節について理解出来るようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(応用) 足関節捻挫に対するメニューの立案と指導		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	足関節について理解出来るようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(応用) 足関節捻挫に対するメニューの立案と指導		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	下腿について理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(基礎) 下腿に生じる障害に対する評価と、問題点の抽出(統合)		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	下腿について理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(基礎) 下腿に生じる障害に対する評価と、問題点の抽出(統合)		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	下腿について理解出来るようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(応用) 下腿に生じる障害に対するメニューの立案と指導		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	下腿について理解出来るようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(応用) 下腿に生じる障害に対するメニューの立案と指導		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	膝関節について理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(基礎) ACL・MCL損傷に対する評価と、問題点の抽出(統合)		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	アスレティックリハビリテーション I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60(2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 木・金、1限	教室名	ATルーム
担 当 教 員	海東 翼	実務経験と その関連資格	AT、鍼灸師としてスポーツ整形で働きながら、高校ラグビー部やアメフトなどのチームに帯同経験有、現在は大学ATルームに勤務し活動中			
《授業科目における学習内容》 ①アスレティックリハビリテーションの意味を知り、その実践に当たって必要となる基礎的知識を理解出来るようになる②各種エクササイズの基本理論と方法について学び、対象者に妥当なエクササイズが指導できるようになる③物理療法の基礎理論を学び使用についての理解を深め、対象者にアドバイスできるようになる④補装具について学び、適切な指導、使用が出来るようになる						
《成績評価の方法と基準》 1:定期試験:70% 2:平常点:10% 3:出席点:20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 AT教本⑦「アスレティックリハビリテーション」						
《授業外における学習方法》 あらかじめ指定された範囲のテキストに目を通し、予習をする。また授業後に振り返るために各疾患別のアスレティックリハビリテーションを測定評価と結びつけながらまとめる						
《履修に当たっての留意点》 あらかじめ指定された範囲のテキストに目を通し、予習をする。また授業後に振り返るために各疾患別のアスレティックリハビリテーションを測定評価と結びつけながらまとめる						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	膝関節について理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	(基礎)ACL・MCL損傷に対する評価と、問題点の抽出(統合)			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	膝関節について理解出来るようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	(応用)ACL・MCL損傷に対するメニューの立案と指導			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	膝関節について理解出来るようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	(応用)ACL・MCL損傷に対するメニューの立案と指導			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	PF関節障害・大腿屈筋群肉離れについて理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	(基礎)PF関節障害・大腿屈筋群肉離れに対する評価と問題点の抽出			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	PF関節障害・大腿屈筋群肉離れについて理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	(基礎)PF関節障害・大腿屈筋群肉離れに対する評価と問題点の抽出			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	PF関節障害・大腿屈筋群肉離れについて理解出来るようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(応用)PF関節障害・大腿屈筋群肉離れに対するメニューの立案と指導		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	PF関節障害・大腿屈筋群肉離れについて理解出来るようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(応用)PF関節障害・大腿屈筋群肉離れに対するメニューの立案と指導		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期まとめ①	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	足関節・下腿で取り扱った外傷・障害についての復習		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期まとめ①	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	足関節・下腿で取り扱った外傷・障害についての復習		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期の内容について振り返り理解出来るようになる①	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	膝関節・PF関節障害・大腿屈筋群肉離れについての復習		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期の内容について振り返り理解出来るようになる①	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	膝関節・PF関節障害・大腿屈筋群肉離れについての復習		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期の内容について振り返り理解出来るようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	グループディスカッション(症例を交えて)テスト対策		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期の内容について振り返り理解出来るようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	グループディスカッション(症例を交えて)テスト対策		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期の内容について振り返り理解出来るようになる③	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	まとめ		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期の内容について振り返り理解出来るようになる③	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	まとめ		